

## BCCCD17 参加報告

広域システム科学系 博士課程 2年 吉田史明

「博士課程学生のための国際研究集会渡航助成」のご支援を頂き、2017年1月5日から1月7日にかけて開催された2017 Budapest CEU Conference on Cognitive Developmentに参加しました。この集まりは中央ヨーロッパ大学が毎年開催している認知発達分野の学会です。認知発達分野で扱われるトピックは、学習や数の認知といった個人的なものから、心の理論や公平な資源の分配などの社会性の認知などにいたるまで幅広くあり、この学会ではそれらが広く発表されていました。

私は1日目に乳児の随伴性の知覚についてのポスター発表を行いました。ポスター発表では研究室で開発されたデジタルおしゃぶりをを用いて行った、音と吸啜の随伴性の知覚についての実験について紹介しました。デジタルおしゃぶりがとらえる空気圧が吸啜により変化する勢いを指標として乳児に音を操作してもらったグループは、吸啜に関係なくランダムに音を聞かせるグループと比べて学習後に吸啜に違いが出るのかを見たところ、操作してもらったグループの吸啜の勢いは強くなったという結果を発表しました。おしゃぶりを使った研究という珍しさもあってか、多くの人に聞きに来てもらうことができました。

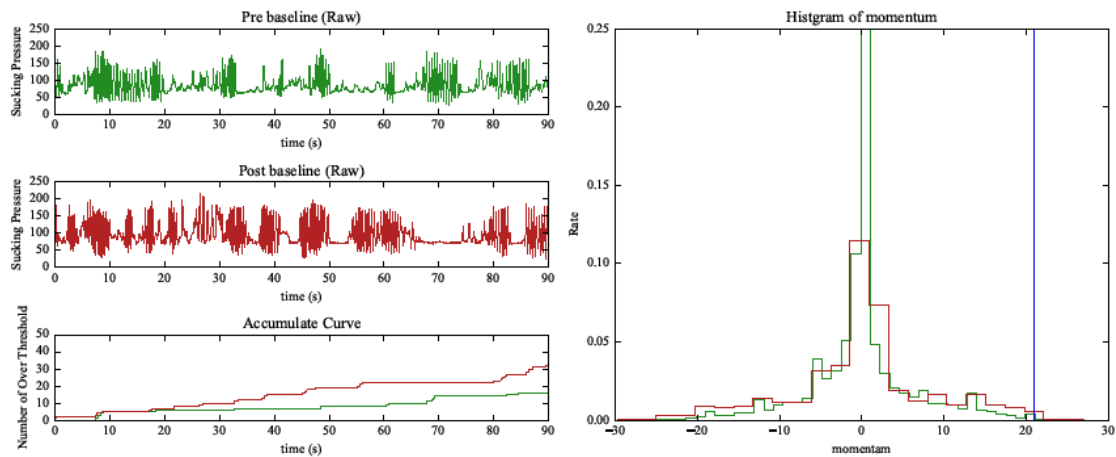


図 1 左上から、音を操作可能だった群での音操作前、音操作後での吸啜の変化のグラフと、それぞれの音が鳴るような吸い方をした回数の累積曲線と、それぞれの吸啜の勢いのヒストグラム（青線は閾値）。

また、予想していたよりも多くの人にポスターを見に来てもらえたことから、自分の行っている研究が他の研究者にとっても興味を持てるものであると感じ、これからの研究を進めるうえでモチベーションが上がりました。

私と同じ先行研究を参考に再現実験を行おうとしている研究者とも知り合うことができ、意見交換をして意義深い時間を過ごすことができました。